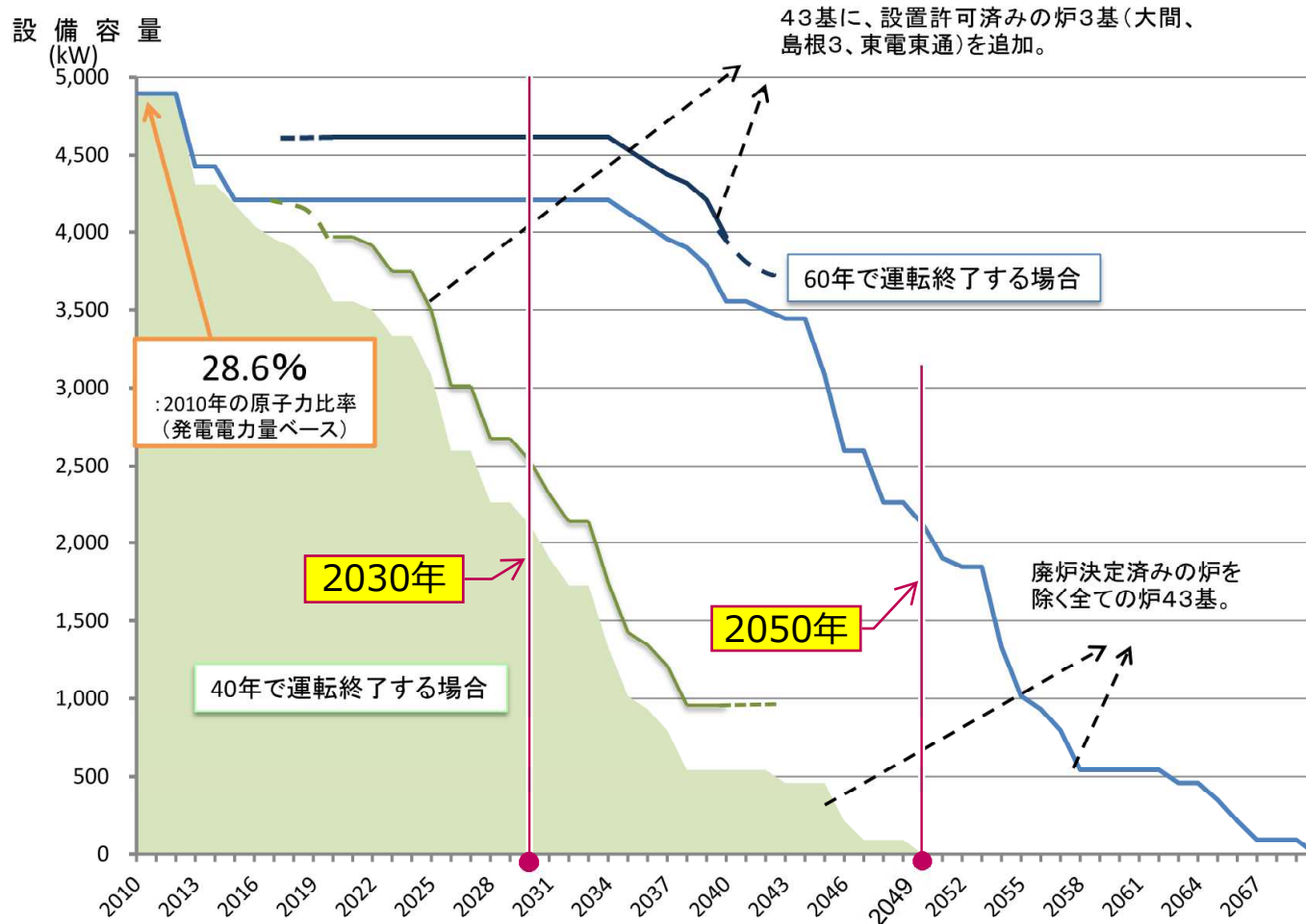


40年運転制限

■ 現存する全ての原子炉が40年で運転終了するとすれば、2030年頃に設備容量が現在の約半分、2040年頃には2割程度となる。



出典：経済産業省 総合資源エネルギー調査会 長期エネルギー需給見通し小委員会(第8回)
「長期エネルギー需給見通し 骨子(案) 関連資料」より倉林明子事務所作成